

「業界のノーベル賞」も受賞 ガス供給装置のトップ



伊藤工機株式会社

工業用ガス器具で80%のシェア

昭和28年、伊藤工機は家庭用LPガス調整器の開発製造からスタートした。ピストン方式のLPガス家庭用調整器や過流式ガス放出防止弁の開発等常に時代が求めるものを送り出してきた。「LPガスの成長期には、毎月2〜3種類の器具を開発してきました。他社にないものを先駆けて作り出す体質が、当社の強みだと思います」と言う内海二郎社長。以後、家庭用にとどまらず業務用、工業用にも進出、現在では工業用で80%、家庭用で20%のシェアを占める。

昭和39年には自動切替式一体型調整器を開発。二本のLPガス容器のうち、一方のガス残量が少なくなると予備の容器に自動的に切り替わるために、ガス切れを防ぎ、計画的なガスの配送を可能にした。その後もニーズに合わせて改良を加え、現在ではその数は230種類にも及ぶ。近年では戸別のLPガスだけではなく、貯蔵タンクでガスを供給するバルク供



給設備のシステム化を考案。現地での施工時間が短縮できると、ガス事業者から高い評価を受けている。「エネルギーは多様化しています。当社はLPガスだけでなく都市ガスへの進出にも積極的に取り組んできました」と語る内海社長。「LPガスの伊藤工機」のレットルを貼りかえたのは、都市ガス専用ガバナだ。都市ガスでは一般的でなかった直動式ガバナを大手都市ガス会社と共同開発し、ガス供給時の圧力変動を抑えて流量特性を安定させるベンチュリーシステムを採用、安全性と作業効率が高い評価を受けている。

震災時のガス供給にも貢献

同社は、災害時のライフラインの復旧にも貢献している。阪神・淡路大震災では仮設住宅へのLPガス供給をバックアップした。また都市ガスの供給がストップした際に、緊急にLPガスで都市ガス用器具が使用できることを目的に開発した「PAI-13A・12A高カローリ移動式ガス発生設備」は、阪神・淡路大震災や新潟中越地震でいち早くガス供給の復旧に貢献している。この設備は、電気等ほかの動力を使わずに現地でガスの供給が可能のため、新潟中越地震でも活躍したが、災害時のみならず導管工事などにも使用されて、従来のような深夜工事作業等をしなくても済むことでも、威力を発揮している。その画期的な開発で同社は業界の「ノーベル賞」ともいえる「日本ガス協会技術大賞」を受賞している。

これらの開発が成功している秘訣は全員参加型の企業体質にあるという。「当社は意見が言いやすい文化ができています。会社の業績もすべて社員に報告していますので、一人ひとりが経営を意識しているのではないのでしょうか」。同社の営業マンは、すべて液化石油ガス設備士の資格を持つていることも、対外的な信用を得る力になっている。また海外にも進出。今後ガスの需要が高まるといふ韓国、中国、ベトナムには現地法人を設立し、ますます活躍が期待される。

伊藤工機株式会社

Company Profile

住所 / 〒579-8038
大阪府東大阪市箱殿町10-4
創業 / 昭和4年5月
設立 / 昭和28年11月
資本金 / 9,000万円
従業員 / 253名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-981-3781
FAX / 072-987-6590

ISO 9001
ISO 14001

全国
20

<http://www.itokoki.co.jp/>



内海二郎さん
代表取締役

主な事業内容

ガス減圧弁・ガバナ・バルブ類、ガス・水等圧力調整弁、電磁弁の製造販売等